

(別記)

峰延農協地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は米の作付面積が水田本地面積の約5割を占める水田地帯であり、転作の主品目としては小麦を作付していますが、近年収量が伸び悩む傾向にあるため、大豆やそば、なたねを輪作体系に取り入れ、収量の向上を図ります。特に小麦、大豆、なたねに関しては収量向上が実現できれば所得向上に繋がる作物でありますので産地としても積極的に導入して参ります。また、野菜、花卉、果樹等については高収益作物として地産地消も含めた中で販売し、所得向上に努めます。なお、連合会長会議等で制度周知・ビジョンの検討を進めます。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

実需者ニーズに即した「安全・安心」の提供を図るため高品質米の生産向上とYES!cleanの取り組み面積の拡大や環境保全型農業の推進を強化し、産地の確立を図ることと共に、需要に応じた安定供給を図るため、主食用米の面積確保に努めます。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

品種特性（多収性品種）を活かした収量の向上と直播栽培等による省力化や低コスト化により所得の向上を目指します。

イ 新市場開拓用米

需要に応じて適切に対応します。

ウ WCS用稲

直播栽培等を行い、省力化や低コスト化に努め、面積維持を図ります。

エ 加工用米

加工用米を中心に非主食用米の取り組みによる水張面積の確保を図り将来的な主食用米生産拡大を目指します。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、透排水性の改善を図り、適期播種、適量施肥、防除等を継続的に実施し、品質及び収量向上に努めます。大豆については、面積を拡大し、輪作体系の確立を図ります。また、適期播種、適量施肥、防除等を継続的に実施し、品質及び収量向上により所得の向上に努めます。飼料作物については、適期播種を継続して行い、畜産農家への安定供給を図ります。

(4) そば、なたね

そばについては、適期播種、防除の情報提供を行い、単収の向上・安定化を図り

ます。なたねについては、防除の回数や肥料の量が少ないため、低コストにより所得向上が実現できる作物として、面積拡大を図ります。

(5) 高収益作物（野菜等）

地元スーパーと連携し、地産地消を推進し、需要にあった作付を図ります。（品目は別紙）

(6) 畑地化の推進

畑地化については、取り組む予定はありません。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2,003.06	2,009.74	2011.00
飼料用米	157.65	116.76	120.00
WCS 用稲	20.11	29.92	28.00
加工用米	37.93	42.49	50.00
新市場開拓用米	0	5.07	7.00
麦	1,104.72	1,006.98	950.90
大豆	307.18	390.81	480.00
地力増進作物	120.74	151.42	—
飼料作物	6.07	1.61	1.60
そば	12.79	14.64	18.00
なたね	5.55	7.00	8.00
その他地域振興作物	68.55	65.00	72.00
野菜	63.09	60.31	65.00
花卉	3.16	2.06	3.50
果樹	1.59	1.63	1.50
小豆	0.71	1.00	2.00

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	小麦	収量向上対策助成	作付面積 (ha)	(29年度) 1104.72	(32年度) 950.90
			収量 (kg/10a)	(29年度) 384	(32年度) 540
			生産量 (kg)	(29年度) 4,242,125	(32年度) 5,134,860
2	大豆	収量向上対策助成	作付面積 (ha)	(29年度) 307.18	(32年度) 480.00
			収量 (kg/10a)	(29年度) 264	(32年度) 300
			生産量 (kg)	(29年度) 810,955	(32年度) 1,440,000
3	なたね	収量向上対策助成	作付面積 (ha)	(29年度) 5.55	(32年度) 8.00
			収量 (kg/10a)	(29年度) 318	(32年度) 348
			生産量 (kg)	(29年度) 17,649	(32年度) 27,840
4	そば	収量向上対策助成	作付面積 (ha)	(29年度) 12.79	(32年度) 18.00
			収量 (kg/10a)	(29年度) 23	(32年度) 38
			生産量 (kg)	(29年度) 2,942	(32年度) 6,840
5	なたね	基幹作物助成	作付面積 (ha)	(29年度) 5.55	(32年度) 8.00
	そば	基幹作物助成	作付面積 (ha)	(29年度) 12.79	(32年度) 18.00
6	休閒緑肥	地力増進作物助成	作付面積 (ha)	(29年度) 120.74	(30年度) 151.42
7	野菜、花卉、果樹	振興作物助成	作付面積 (ha)	(29年度) 67.84	(32年度) 70.00
8	小豆	振興作物助成	作付面積 (ha)	(29年度) 0.71	(32年度) 2.00
			収量 (kg/10a)	(29年度) 248	(32年度) 280
			生産量 (kg)	(29年度) 1,761	(32年度) 5,600
9	そば	二毛作助成	作付面積 (ha)	(29年度) 20.72	(32年度) 29.00
10	野菜	二毛作助成	二毛作 作付面積 (ha)	(29年度) 10.84	(30年度) 15.00
11	飼料用米	耕蓄連携助成	二毛作 作付面積 (ha)	(29年度) 78.65	(32年度) 82.00
12	小麦、玉葱後の 緑肥作物	小麦、玉葱病害対策	作付面積 (ha)	(29年度) 304.12	(30年度) 310.00
13	新市場開拓用米	新市場開拓用米作 付助成	作付面積 (ha)	(29年度) 0	(32年度) 7.00

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり